

治療日	算定区分	治療日数	所定疾患	摘要
R05. 11. 01	II	10	蜂窩織炎	左踵褥瘡処置を毎日続けているが、11/1の皮膚科受診時周囲の感染確認ありセフジニル(100)2C/日投与も開始。
R06. 03. 19	II	7	蜂窩織炎	
R05. 07. 20	II	6	尿路感染症	一度解熱したが再度38度ありレボフロキサシン内服開始。改善なくセフトリアキソン点滴。食事摂取不良の為ポタコール補液。回復なく入院。
R05. 08. 18	II	10	尿路感染症	8/18朝から38.6度の発熱あり尿検査で細菌、白血球陽性。レボフロキサシン内服開始。解熱せず食事摂取不良となり8/21のCRP20.0と上昇。セフトリアキソン、KN、ポタコール補液開始。
R05. 06. 06	II	7	肺炎	
R05. 08. 03	II	5	帯状疱疹	8/3、背部に水疱を伴う皮疹あり帯状疱疹の診断でバラシクロビル(500)4錠/日内服。
R05. 05. 27	II	3	肺炎	5/27夕方から体調不良。夜間にかけて38.4度まで上昇。レボフロキサシン内服開始。SpO2 88%に低下し食事摂取不良のためポタコール点滴。5/29の胸部CT上右上下肺炎あり5/30入院。
R05. 06. 23	II	4	尿路感染症	2023/6/23夕方から39.6度あり悪寒、振戦、嘔吐ありセフトリアキソンNa1g、ポタコールr500ml点滴。
R06. 01. 16	II	7	帯状疱疹	1/16、右背部から側胸部にかけて発疹、水疱ありバルトレックス投与
R05. 05. 06	II	10	尿路感染症	5/6、38度の発熱あり尿検査で細菌、白血球陽性。レボフロキサシン内服開始したが改善せず5/11からセフトリアキソン点滴。食事摂取不良の為ポタコール点滴。
R05. 12. 01	II	3	帯状疱疹	11/28、右肩から腋窩にかけて水疱を伴う紅斑ありアシクロビル250mg/日点滴開始。11/30には痂痂化。12/1以降バルトレックス1001mg/日内服に変更
R05. 11. 28	II	3	帯状疱疹	11/28、右肩から腋窩にかけて水疱を伴う紅斑ありアシクロビル250mg/日点滴開始。11/30には痂痂化。12/1以降バルトレックス1000mg/日内服に変更

治療日	算定区分	治療日数	所定疾患	摘要
R05.08.01	II	2	尿路感染症	7/24より38度の発熱を繰り返し尿検査で細菌、白血球強陽性。セフジニル内服を開始したが改善なく食事、水分摂取量不良の為セフトリアキソン2g点滴、ポタコール補液。
R05.07.24	II	8	尿路感染症	7/24より38度の発熱を繰り返し尿検査で細菌、白血球強陽性。セフジニル内服を開始したが改善なく食事、水分摂取量不良の為セフトリアキソン1g点滴、ポタコール補液。
R05.09.01	II	1	帯状疱疹	8/3, 背部に水疱を伴う皮疹あり帯状疱疹の診断でバラシクロビル(500)5錠/日内服。
R05.08.28	II	4	帯状疱疹	8/28, 背部に水疱を伴う皮疹あり帯状疱疹の診断でバラシクロビル(500)4錠/日内服。
R05.11.01	II	8	帯状疱疹	5/10/29より右手から水疱が広がり、30日には右腕から右腋窩全体に水疱がやぶけ、左前胸部、全身にも水疱多発。アシクロビル250mg*3/日点滴開始。食事水分摂取不良の為補液も施行。水疱に対して軟膏処置。
R05.10.29	II	3	帯状疱疹	5/10/29より右手から水疱が広がり、30日には右腕から右腋窩全体に水疱がやぶけ、左前胸部、全身にも水疱多発。アシクロビル250mg*2/日点滴開始。食事水分摂取不良の為補液も施行。水疱に対して軟膏処置。
R05.08.11	II	4	尿路感染症	8/10より38度の発熱あり尿混濁著明、尿路感染症併発としてセフトリアキソンNa点滴開始。状態改善せず入院。
R06.01.20	II	3	尿路感染症	1/20, 38.5度、突然の発熱ありコロナ陰性。呼吸器症状なく尿検査で細菌、白血球陽性。食事、水分摂取不良の為ポタコール、KN補液。セフトリアキソンNa 抗生剤点滴施行。1/22コロナ抗原再検し陽性を確認。
R05.04.27	II	2	尿路感染症	4/27昼頃突然39.3度の発熱あり呼吸苦出現。尿細菌、白血球強陽性、CRP16.8。レボフロキサシン投与開始したが、夕方になり経口摂取不良となりポタコール、セフトリアキソン点滴。4/28、呼吸状態も悪く入院。
R06.02.13	II	7	尿路感染症	

治療日	算定区分	治療日数	所定疾患	摘要
R05.12.22	II	3	肺炎	2023/12/22の朝食時窒息、誤嚥あり吸引、回復後38度の発熱あり食事摂取不能、ポタコール500ml点滴。セフゾン(100)3錠/日内服開始。翌日には解熱、食事摂取可能となった。
R06.01.01	II	4	尿路感染症	R5/12/28夜間39度の発熱あり水分摂取不良。尿検査で潜血陽性、細菌、白血球強陽性ポタコール補液。レボフロキサシン250mg/日経口投与。
R05.12.29	II	3	尿路感染症	R5/12/28夜間39度の発熱あり水分摂取不良。尿検査で潜血陽性、細菌、白血球強陽性ポタコール補液。レボフロキサシン250mg/日経口投与。
R05.11.28	II	3	尿路感染症	11/28、排尿時痛、頻尿あり尿検査で細菌、白血球陽性。セフジビル2c/日投与。
R05.08.13	II	6	蜂窩織炎	8/8より右足趾の壊死進行。8/13より38度の熱を繰り返し感染予防にセフジニル(100)2c/日をPEGから投与。8/17には足首までチアノーゼ広がり埼玉病院へ入院。
R05.07.21	II	1	尿路感染症	7/20より38度の発熱あり尿検査で細菌、白血球強陽性。呼吸苦症状も改善なく心不全悪化として入院。
R05.07.22	II	3	蜂窩織炎	転倒し後頭部打撲。裂傷あり4針縫合。セフトリアキソン点滴。
R05.11.09	II	4	尿路感染症	11/9の昼より38.5度熱発あり。呼吸器症状なく尿検査で細菌、白血球強陽性のためレボフロキサシン(250)投与。
R05.07.24	II	5	帯状疱疹	7/24、右大腿外側に発疹、水疱あり帯状疱疹の診断でバラシクロビル(500)6錠/日内服開始。
R06.02.08	II	5	蜂窩織炎	
R05.09.20	II	6	肺炎	9/13、COVID-19罹患。感冒症状のみで経過していたが、食事摂取不良、嘔吐が続き胸部CT上コロナ肺炎あり。補液、プリンペラン点滴続けたが食欲改善なく9/26辻クリ入院。
R06.01.15	II	5	尿路感染症	R6/1/15、血尿、尿中浮遊物ありバルーン入れ替え。その後38.7度の発熱ありフロモックス、トランサミン内服。

治療日	算定区分	治療日数	所定疾患	摘要
R05.12.18	Ⅱ	10	尿路感染症	12/18尿道バルーン入れ替え後より感染あり泌尿器科からフロモックス処方。
R06.02.11	Ⅱ	4	尿路感染症	
R05.08.01	Ⅱ	3	尿路感染症	7/31の午前中39.3度の発熱あり。コロナ抗原陰性、尿検査で白血球、細菌陽性。レボフロキサシン内服開始。
R05.07.31	Ⅱ	1	尿路感染症	7/31の午前中39.2度の発熱あり。コロナ抗原陰性、尿検査で白血球、細菌陽性。レボフロキサシン内服開始。